

SCON-KIT/PRO クイックマニュアル

【はじめに】

このたびは玄人志向製品をお買上げいただきありがとうございます。

SCON-KIT/PRO は、KURO-BOX/PRO 用シリアルコンソール接続キットです。

ハンダ付けが必要な電子工作キットとなりますことご注意ください。

玄人志向キワモノシリーズにつき、初期不良時交換のみの保証となります。

初期不良交換に関するご相談はご購入になられた販売店様へお願いします。

初期不良交換の条件や期間は販売店様の規定に従います。

修理とサポートはございません。ご了承ください。

ハンダ付けされました KURO-BOX/PRO には保証がなくなりますことご注意ください。

この製品に関する情報交換は玄人志向ホームページの **HELP ME! BBS** をご活用ください。

<http://kuroutoshikou.com/modules/kurobbs/?iid=992>

【使用上のご注意】

ハンダ付けの際は、ハンダこて・ハンダの取り扱いにご注意ください。

基板剥き出しの製品のため、静電気等に十分注意してください。

突起部が多数あるため、お取り扱いにはご注意ください。

添付ハーネス/コネクタは、過度な回数の挿抜を行わないでください。

コネクタと基板などにストレスをかけなようご注意ください。

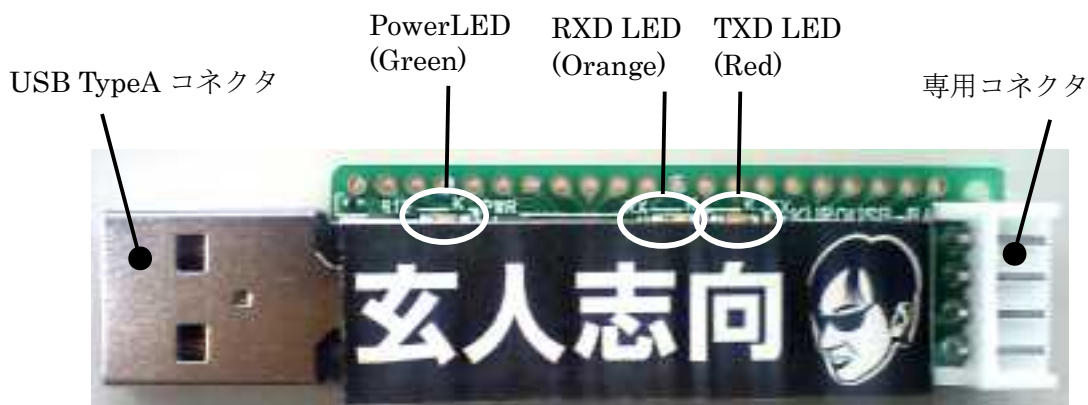
KURO-BOX/PRO の電源を入れた状態でコネクタを挿抜しないでください。

使用にはターミナルソフトが別途必要です。(ハイパーターミナルなど)

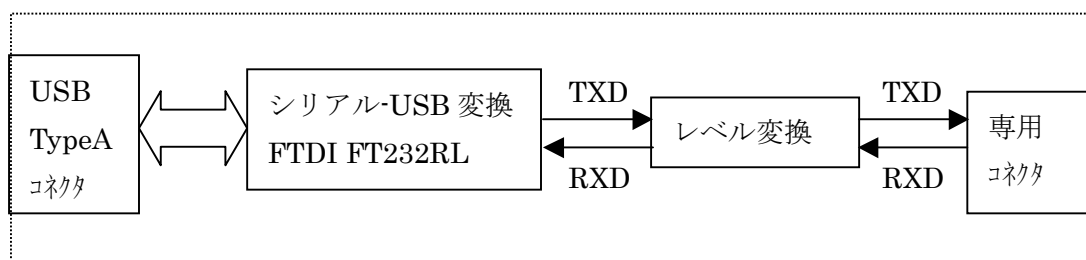
【パッケージ内容】

SCON-KIT/PRO 本体	1 個
専用 4 芯ケーブル(クロス結線)	1 個
専用 4 ピンコネクタ部品(KURO-BOX/PRO 側ハンダ付け用)	2 個 (うち 1 個は予備)

【本体各部の説明】



【製品仕様】



SCON-KIT/PRO 本体 ブロック図

SCON-KIT/PRO 主な仕様

変換 IC	FTDI FT232RL
KURO-BOX/PRO 側 I/F	シリアル(3.3V)
PC 側 I/F	USB1.1

専用コネクタピン配(SCON-KIT/PRO 側)

1	TXD	Out
2	RXD	In
3	VCC	In
4	GND	-

KURO-BOX/PRO UART 仕様

Bps	115200
Data	8bit
Parity	None
Stop bit	1
Flow Ctrl	None

専用コネクタピン配(KURO-BOX/PRO UART 側)

1	TXD	Out
2	RXD	In
3	VCC(+3.3V)	Out
4	GND	-

(注意)信号レベルは RS232C レベル
ではありません

【シリアル-USB 変換】

FTDI 社製 FT232RL 情報

<http://www.ftdichip.com/Products/FT232R.htm>

【セットアップ手順】

(1) KURO-BOX/PRO サブ基板への「専用 4 ピンコネクタ部品」のハンダ付け作業

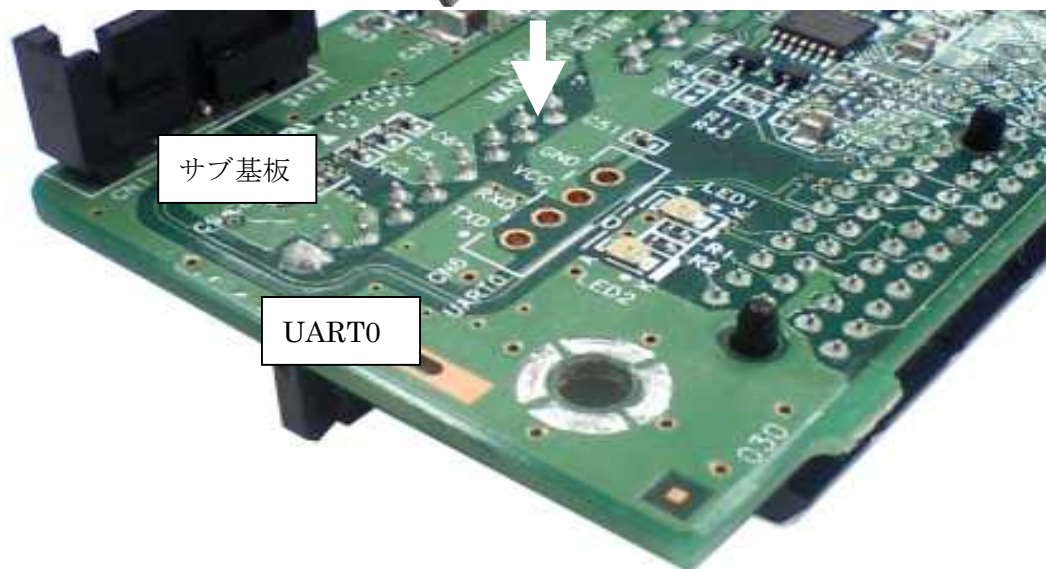
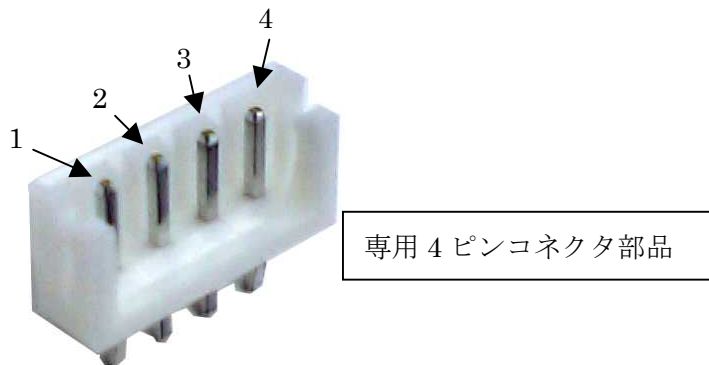
(注意) KURO-BOX/PRO の AC コンセントは抜いた状態で作業を行ってください。

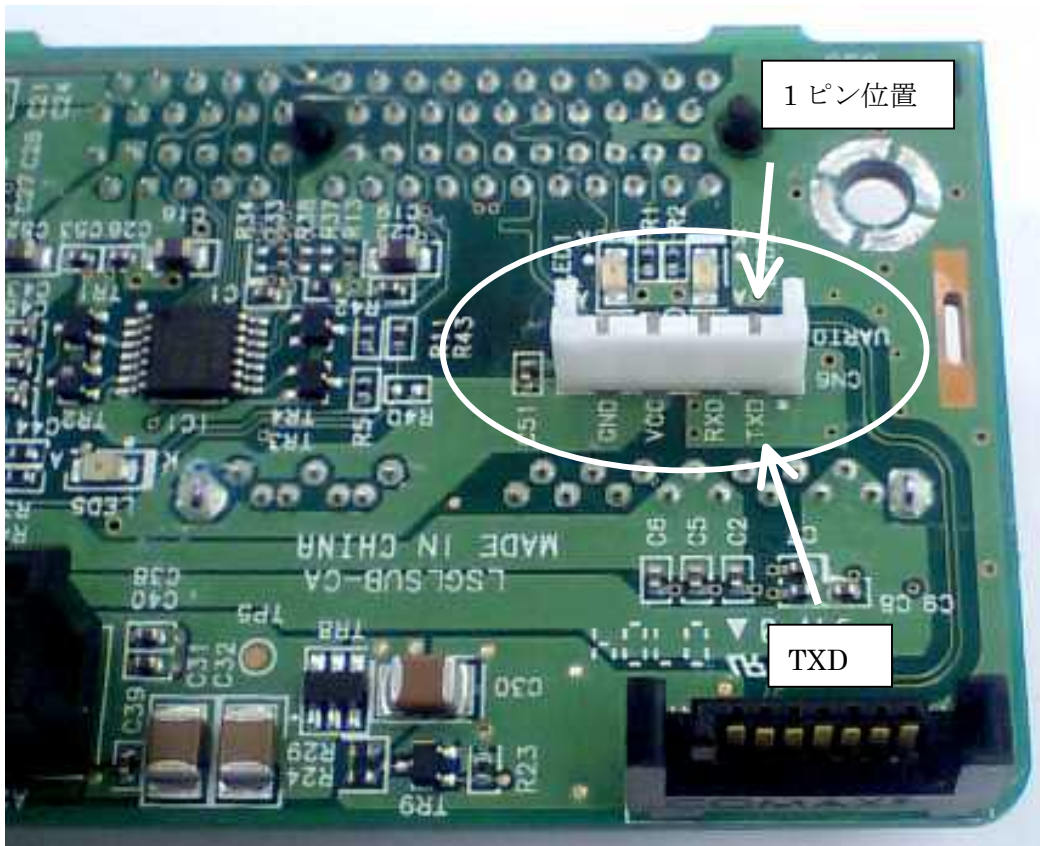
KURO-BOX/PRO のフロントパネルを開け、HDD 固定ブラケットを取り外してから、サブ基板(下図)を取り外してください。図中の円で示した箇所がシリアルコンソール接続用の UART0(スルーホール)です。



KURO-BOX/PRO サブ基板

下図の通り参考に SCON-KIT/PRO 付属の「専用 4 ピンコネクタ部品」の 1 ピン位置を、基板の「TXD」シルク文字に合うよう方向に気をつけて仮挿ししてください。仮止めテープなどを利用して固定するとハンダ付け作業が行いやすくなります。(注意)方向を間違えると故障の原因となります。





サブ基板

4ピン専用コネクタ部品取り付け方向

裏へ返して下図の4箇所をハンダ付けしてください。ショートしないようご注意ください。



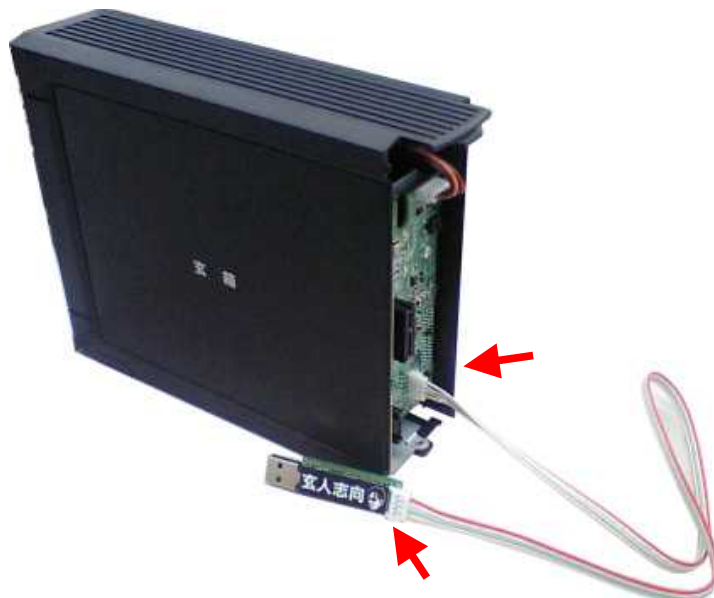
サブ基板(裏面)

ハンダ付け位置 (4箇所)

ハンダ付けが終わったら、目視でハンダ付けに問題がないことを確認してから、サブ基板を再度 KURO-BOX/PRO へ取り付けてください。

(2)SCON-KIT/PRO の接続

付属「専用4ピンケーブル」を使って SCON-KIT/PRO 本体と KURO-BOX/PRO のサブ基板上の UART0 を接続します。この時点ではまだ PC へ接続しないでください。



(3)仮想 COM ポートドライバの準備とインストール

FTDI 社下記の URL から FT232R 用仮想 COM ポートドライバをダウンロードして Zip 解凍してください。ご使用の OS に対応したドライバを選択してください。

<http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm>

PC の USB ポートへ SCON-KIT/PRO を接続してください。初回接続時に新しいハードウェアのウィザードが表示されますので、ダウンロードして展開したドライバをインストールしてください。

デバイスマネージャを開いて、仮想 COM ポート(USB Serial Port)が”COM 何番”に割り当てられているか確認します。下図の場合は、”COM5”が割り当てられています。



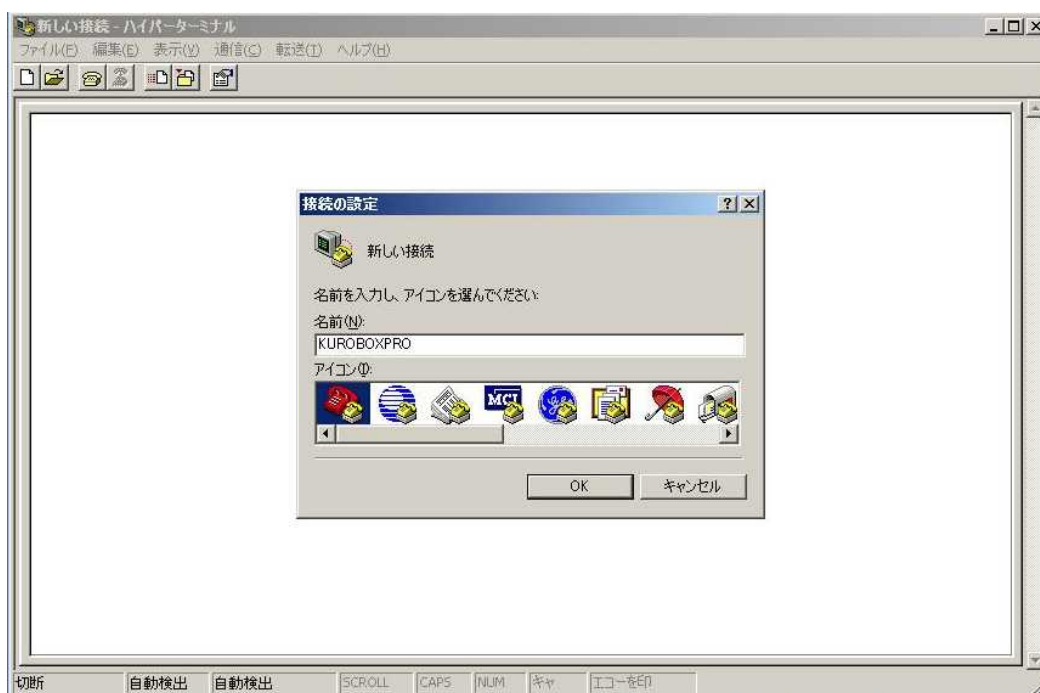
(4)ターミナルソフトの設定

ターミナルソフトを起動し、先ほど調べた”COM?”ポートをにて、KURO-BOX/PRO UART 仕様表を参照してシリアルポート設定を行ってください。

(参考)

WindowsXP/2000 の場合、”ハイパーターミナル”が用意されています。ハイパーターミナルを使用する場合の手順例を紹介します。

ハイパーターミナルを起動し、まず新しい接続の名称を登録します。



下図の場合は接続方法に”COM5”を選択しています。続いて、KURO-BOX/PRO UART 仕様表を参照してポートの設定を行います。

